



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

脱臼

顎関節症治療科 診療科長・教授 菅沼 岳史

今年の大谷選手は、50-50の達成、3年連続のMVP受賞と、とどまることを知らない活躍でしたが、ワールドシリーズ第2戦の盗塁のスライディングで肩を脱臼しました。最初は亜脱臼（不完全な脱臼）と報道されましたが、肩の内部損傷と再発防止のために手術を受けたようです。一刻も早く回復し、来年のさらなる活躍を期待したいと思います。

ところで、顎の関節（顎関節）でも脱臼が起こることがあります。脱臼が起こると口が閉じられず食事や会話ができなくなります。図1は口を開けるときの顎関節の動きです。顎関節は肩関節やほかの、さまざまな関節と異なり特殊な動きをします。口を閉じているときに関節窩と呼ばれるくぼみの中の①の位置にあった関節は、回転しながら②の位置に移動して大きく口が開きます。口を閉じるときにはその逆の経路で①の位置に戻ります。

顎関節の脱臼は、関節結節という膨らみを超えて③の位置まで移動してしまい（図2）、それに引っかかって関節窩に戻れなく

なった状態です。その原因にはあくびや歯科治療時の大開口、加齢による靱帯や筋力の低下などさまざまなものがあります。

治療法としては、下の左右の奥歯に両手の親指で力をかけて顎関節を押し下げ、③の位置から①の位置に戻すことによって整復します。片側で起こった場合、脱臼した側の下の奥歯を同様に押し下げて整復します。脱臼が習慣化することもあり、手術が必要になることもあります。口を開ける訓練による再発防止法や、自己整復法などで対応することもありますので、当科にご相談ください。

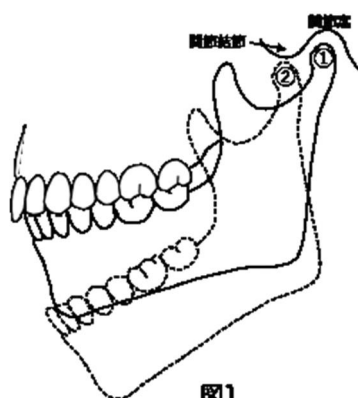


図1

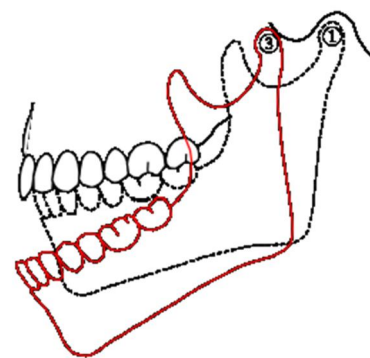


図2



- P1 巻頭言 脱臼
- P2 診療科紹介：顎関節症治療科
- P3 歯科診療トピック：歯周病科
- P4 新任のご挨拶、クリニカルセミナー開催報告、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介：顎関節症治療科

顎関節症治療科 診療科長補佐・助教 犬井 知美

当科では、あごが痛い、あごを動かすとカクカク音がする、口を大きく開けられないなどの症状のある顎関節症をメインに、歯ぎしり、口やあごなど顔面領域の痛み（口腔顔面痛）の治療、睡眠時無呼吸症の口腔内装置による治療およびスポーツマウスガードの作製を行っています。

主な診療内容

1. 顎関節症の基本治療

1) 習癖是正認知行動療法

顎関節症の原因は1つではなく、不必要な歯の接触や食いしばり、頬杖などの癖、片咀嚼、夜間の歯ぎしり、ストレス、楽器演奏、スポーツなどが挙げられています。特にスマホやパソコンの操作時、考え事をしている時などに無意識に上下の歯を接触させる癖を持っている患者さんが多くみられます。これは顎関節や顎の筋肉に負担がかかりますので、こうした習癖を認知してもらい是正することで原因を取り除きます。

2) リハビリトレーニング

口を大きく開けられない場合、口を開ける練習をしてもらうことで開口障害を改善します。あごの筋肉のストレッチ効果もありますので、筋肉の痛みに対しても有効です。あごの筋肉に痛みがある場合には、いわゆる“こ

り”が触診できるので、この部位のマッサージの方法もご指導します。

3) スプリント療法（マウスピース）

顎関節や顎を動かす筋肉への負担軽減と咬み合わせの変化に対応する目的でスプリントと呼ばれる装置を用いることもあります。顎関節症の原因の一つである歯ぎしりによる負荷を軽減するために夜間に装着します。

4) 薬物療法

顎関節やあごの筋肉の痛みが強い場合や口腔顔面痛に対しては、薬物療法が有効な場合があります。消炎鎮痛剤などを処方します。

2. 睡眠時無呼吸症のマウスピースによる治療

医科で行った睡眠時無呼吸の検査で、比較的症状が軽い場合に適応になるマウスピースによる治療を行っています。

3. スポーツマウスガード

スポーツ時の外部の衝撃による口の中の損傷防止を目的として、ラグビーやボクシングなどマウスガードの着用を義務付けるスポーツが増えてきています。マウスガードの装着は顎関節にも影響することがありますので、専門機関である当科での作製をおすすめします。



開口訓練の様子



顎関節症治療科スタッフ

歯周病は口腔内の細菌が原因で、歯肉の腫れや歯の揺れを訴える病気です。そのまま放置すると歯を支えている骨（歯槽骨）を失い、歯を失ってしまいます。近年では歯周病に罹患していると、糖尿病やアルツハイマー病になるリスクが高いことも分かってきました。実際に歯周病を治療するには、歯周病の原因であるプラークや歯石の除去が必要となり、さらに歯周病が進行した場合は歯周外科手術が必要となります。そこで今回は、歯周外科手術時にエルビウムヤグレーザーを利用して、歯石の除去や歯根表面の殺菌を可能とするレーザー治療をご紹介します。

エルビウムヤグレーザーは、水への吸収性が非常に高いのが特徴で、そのため水を含む生体組織によく吸収され歯肉などの軟組織や歯または骨などの硬組織を効果的に蒸散させます。歯周外科手術にエルビウムヤグレーザー（アーウィンアドベールEVO モリタ製作所 写真1左）を利用することで、従来の方法よりも低侵襲で効率的に歯石の除去や感

染している歯根表面の無菌化が行えます。また従来の器具では届きにくい部位に対しても先端の細いレーザーチップで歯石の除去が可能となります（写真1右）。

歯石は多孔質で水分も多く含んだ石灰化物で有機成分も含まれるため、歯周病原細菌の絶好の生息場所となっていることから歯石の除去は歯周病治療において重要になります。歯石にエルビウムヤグレーザーを照射すると、石灰化物の間に存在する水分は一気に気化し水蒸気へと変化し、その際に水分子の体積が膨張して歯石は内部から粉砕されます。抜去歯上の歯石にエルビウムヤグレーザーを照射すると術前に観察される黒褐色の歯石は術後には歯石が除去され、きれいな歯根表面が観察されます（写真2）。

最後に、歯周外科手術時にエルビウムヤグレーザーを併用すると手術後の疼痛が少ないこと、創傷治癒の促進効果や歯周組織再生効果も期待できるので患者さんにとってもメリットになると考えられます。

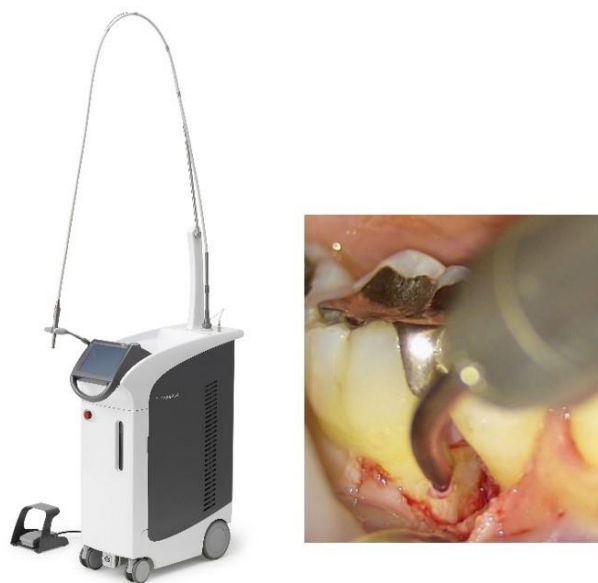


写真1 エルビウムヤグレーザー装置（左） レーザーにより歯石除去（右）

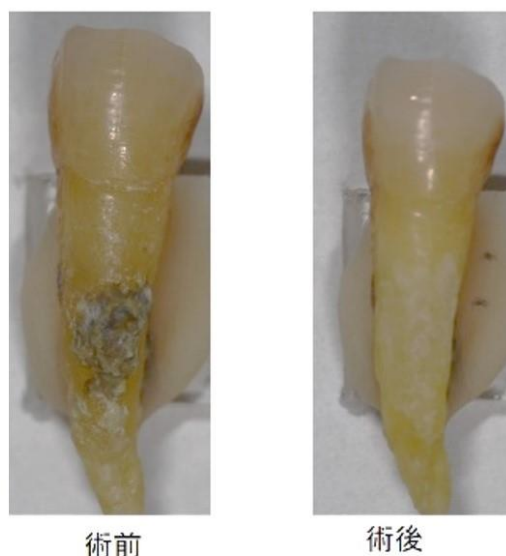


写真2 エルビウムヤグレーザーによる歯石除去

新任のご挨拶

事務課 事務長 伊藤 大輔



みなさま、はじめまして。
11月1日付けで昭和大学歯科
病院の事務長を拝命いたしま
した伊藤大輔です。

まずは、長きにわたり当院
をご利用いただいている皆様
に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支
援があってこそ、今日まで病院を運営すること
ができました。

新しい体制のもと、職員一同、患者さんへの
一層のサービス向上を目指し、日々研鑽を積ん

でまいります。特に、待ち時間の短縮や、より
わかりやすい説明など、患者さんにとって快適
な受診環境づくりに力を入れ、より良い病院へ
と発展させていく所存でございます。今後とも
変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い
申し上げます。

最後になりますが、寒さが厳しくなりインフ
ルエンザやマイコプラズマ肺炎など感染症が流
行しております。お身体をご自愛いただき、よ
いお年をお迎えください。

クリニカルセミナー開催報告

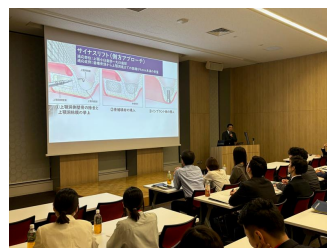
昭和大学歯科病院 副院長 船津 敬弘

第1回昭和大学歯科病院クリニカルセミナー
が、10月24日に上條記念館において開催され
ました。日頃当院へ多くの患者さんをご紹介い
ただいている地域の歯科診療所から60名の参加
がありました。

セミナーでは、インプラント歯科の宗像教授
から「上顎臼歯部へのアプローチ【内視鏡下手
術によるサイナスリフト】」が、歯科麻酔科の
増田教授からは「歯科における全身麻酔と静脈
内鎮静法」が講演され、参加者へ当院で行って
いる専門性の高い診療について紹介されまし
た。その後の懇親会では歯科病院スタッフと地

域の先生方の親睦が深まり、顔の見える連携の
構築が図られました。

本セミナーは当院と地域で診療されている歯
科診療所の先生方との交流を通じて、患者さん
への医療サービス向上を目的としたものです。
次年度以降も本セミナーを継続し、より良質な
医療の提供に努めてまいります。



クリニカルセミナーの様子



懇親会の様子

編集後記

神宮外苑のイチヨウ並木が色付き始めたかと思えば、もう半分ぐらいが散り始
めています。そんな短い秋でしたが、3か月予報によると平年並みの冬になりそ
うです。冬の定番のインフルエンザだけでなく様々な感染症が流行していますの
で、引き続きマスクを着用し、こまめな手指消毒など最低限の感染対策を継続し
ていきましょう。
(T.S)

